

### 3 特別会計及び企業会計当初予算の状況

特別会計全体の当初予算は、表14のとおり110億1千万円を計上しました。前年度と比較すると6億4千万円の増となりました。

農業公園事業特別会計は、梅林公園整備工事で増額となりましたが、前年度でレストラン整備工事が終了したため、前年度とほぼ同額となりました。

国民健康保険特別会計は、国保連合会への負担金の増額などにより2億5千万円の増となりました。

後期高齢者医療特別会計は、後期高齢者医療広域連合負担金の増額により4千万円の増となりました。

介護保険特別会計は3億2千万円の増となりました。これは、高齢化による要介護者の増加や介護福祉サービスの多様化による増加が見込まれるためです。

企業会計の当初予算は、表15のとおり18億7千万円を計上しました。前年度と比較すると2億3千万円の増となりました。これはみなし償却制度の廃止に伴い、有形固定資産減価償却費が増となったためです。

表14 特別会計の当初予算状況

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度 予 算 額 A	平成25年度 予 算 額 B	比 較	
			増 減 額 A - B	増 減 率 (A - B) / B
農 業 公 園 事 業	252,500	250,000	2,500	1.0
国 民 健 康 保 険	4,830,700	4,583,000	247,700	5.4
後 期 高 齢 者 医 療	834,100	790,000	44,100	5.6
介 護 保 険	3,158,300	2,839,200	319,100	11.2
農 業 集 落 排 水 事 業	368,300	340,600	27,700	8.1
下 水 道 事 業	1,565,800	1,566,500	△ 700	△ 0.0
合 計	11,009,700	10,369,300	640,400	6.2

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

表15 企業会計の当初予算状況

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度 予 算 額 A	平成25年度 予 算 額 B	比 較	
			増 減 額 A - B	増 減 率 (A - B) / B
水 道 事 業	1,865,734	1,633,569	232,165	14.2

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

### (1) 農業公園事業特別会計当初予算の状況

平成26年度の当初予算は、表16、図18のとおり2億5千万円を計上しました。前年度とほぼ同額となりました。

歳入予算では、繰入金を2千万円の増としました。これは、農業公園施設整備のために基金の取り崩しが増加したからです。市債は、農業公園施設整備債（辺地債）の借り入れにより1千万円の増となりました。

歳出予算では、前年度とほぼ同額となりました。これは、農業公園事業費が、梅林公園整備工事で増額となりましたが、前年度でレストラン整備工事が終了したためです。

なお、予算規模の推移、一般会計からの繰入金の推移は、図17、図19をご覧ください。

表16 農業公園事業特別会計の科目別予算状況

#### 歳入予算

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
分担金及び負担金	800	0.3	800	0.3	0	0.0
使用料及び手数料	35,518	14.1	34,957	14.0	561	1.6
財 産 収 入	7,523	3.0	7,618	3.0	△ 95	△ 1.2
繰 入 金	89,811	35.6	66,634	26.7	23,177	34.8
繰 越 金	1,000	0.4	1,000	0.4	0	0.0
諸 収 入	848	0.3	36,191	14.5	△ 35,343	△ 97.7
市 債	117,000	46.3	102,800	41.1	14,200	13.8
歳 入 合 計	252,500	100.0	250,000	100.0	2,500	1.0

#### 歳出予算

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
農業公園事業費	250,590	99.2	248,084	99.2	2,506	1.0
公 債 費	1,910	0.8	1,916	0.8	△ 6	△ 0.3
歳 出 合 計	252,500	100.0	250,000	100.0	2,500	1.0

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図17 農業公園事業特別会計の予算規模の推移

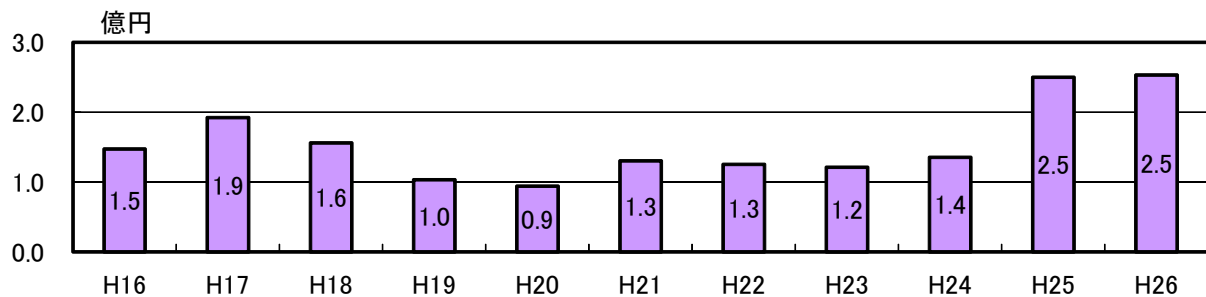


図18 農業公園事業特別会計の科目別予算状況

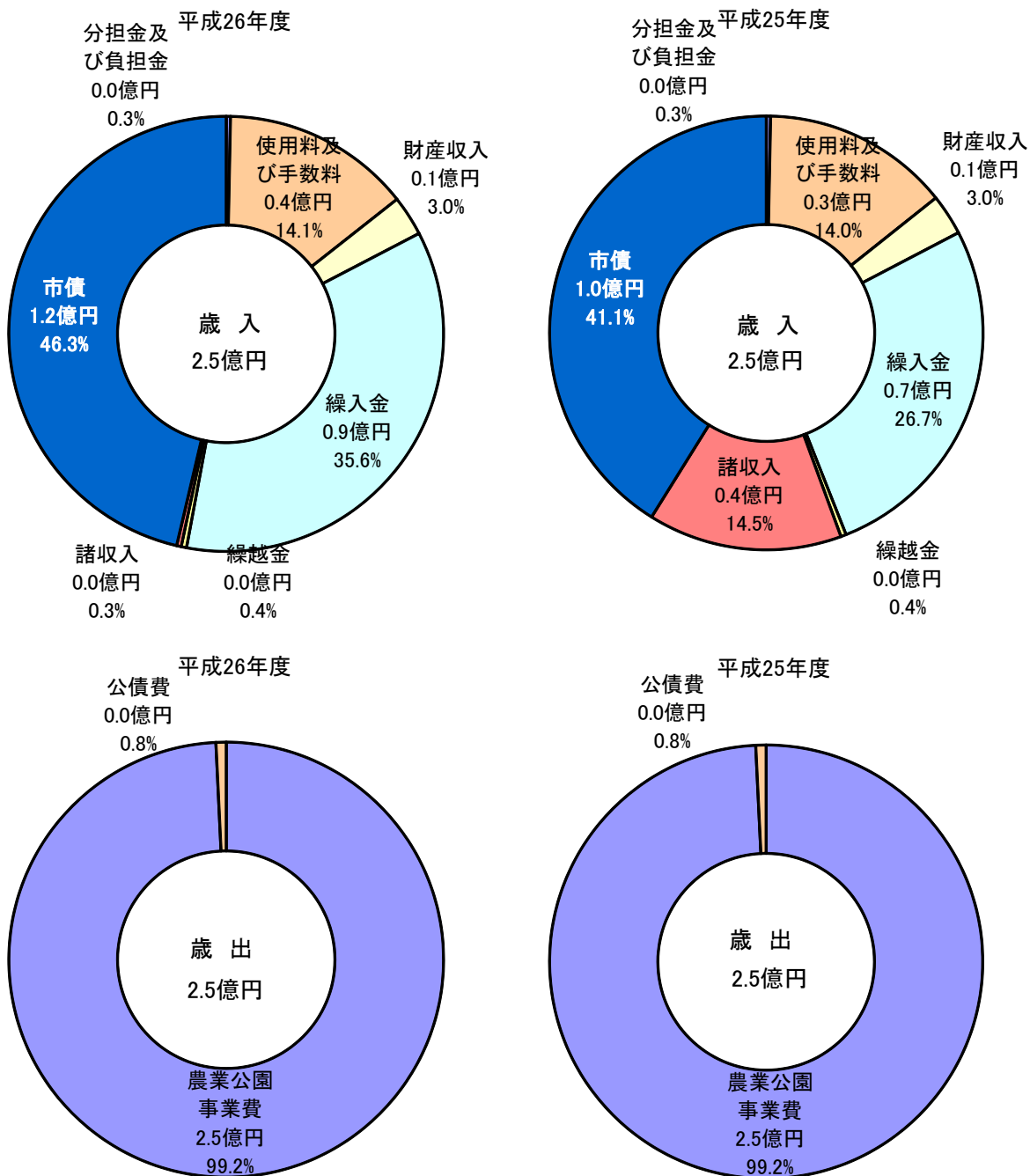
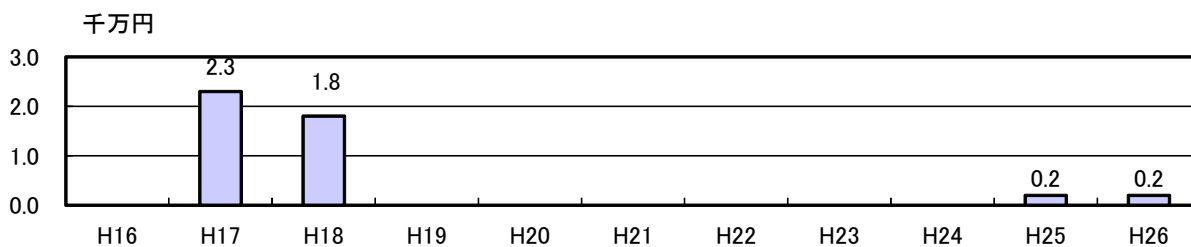


図19 一般会計からの当初予算繰入金の推移



注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

## (2) 国民健康保険特別会計当初予算の状況

平成26年度の当初予算は、表17、図21のとおり48億3千万円を計上しました。前年度と比較すると2億5千万円の増となりました。

歳入予算では、共同事業交付金を2億2千万の増としました。これは、保険財政共同安定化事業交付金の対象医療費が拡大したことが主な要因です。繰入金は、職員給与費等繰入金や一般会計繰入金の減により3千万円の減となりました。

歳出予算では、負担平準化対象の医療費を拡大したことに伴う、国保連合会への負担金の増などにより2億5千万円の増となりました。

なお、予算規模の推移、一般会計からの繰入金の推移は、図20、図22をご覧ください。

表17 国民健康保険特別会計の科目別予算状況

歳入予算

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 A - B	伸び率 (A-B)/B
国民健康保険料	1,061,169	22.0	1,058,090	23.1	3,079	0.3
一部負担金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
使用料及び手数料	323	0.0	317	0.0	6	1.9
国庫支出金	782,238	16.2	787,587	17.2	△5,349	△0.7
療養給付費交付金	333,936	6.9	337,447	7.4	△3,511	△1.0
前期高齢者交付金	1,378,705	28.5	1,336,876	29.2	41,829	3.1
県支出金	191,898	4.0	165,609	3.6	26,289	15.9
共同事業交付金	648,786	13.4	428,555	9.4	220,231	51.4
財産収入	0	0.0	0	0.0	0	-
繰入金	229,285	4.7	264,159	5.8	△34,874	△13.2
繰越金	200,000	4.1	200,000	4.4	0	0.0
諸収入	4,358	0.1	4,358	0.1	0	0.0
歳入合計	4,830,700	100.0	4,583,000	100.0	247,700	5.4

歳出予算

(単位：千円、%)

区 分	平成 26 年 度		平成 25 年 度		比 較	
	予 算 額 A	構 成 比	予 算 額 B	構 成 比	増 減 A - B	伸 び 率 (A-B)/B
総 務 費	63,086	1.3	73,389	1.6	△ 10,303	△ 14.0
保 険 給 付 費	3,216,525	66.6	3,201,131	69.8	15,394	0.5
老人保健拠出金	51	0.0	51	0.0	0	0.0
後期高齢者支援金	586,219	12.1	576,561	12.6	9,658	1.7
前期高齢者納付金	1,400	0.0	1,400	0.0	0	0.0
介 護 納 付 金	231,908	4.8	221,895	4.8	10,013	4.5
共 同 事 業 拠 出 金	663,739	13.7	448,997	9.8	214,742	47.8
保 健 事 業 費	50,868	1.1	44,322	1.0	6,546	14.8
基 金 積 立 金	0	0.0	0	0.0	0	-
公 債 費	750	0.0	750	0.0	0	0.0
諸 支 出 金	6,154	0.1	4,504	0.1	1,650	36.6
予 備 費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0
歳 出 合 計	4,830,700	100.0	4,583,000	100.0	247,700	5.4

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致場合があります。

図20 国民健康保険特別会計の予算規模の推移

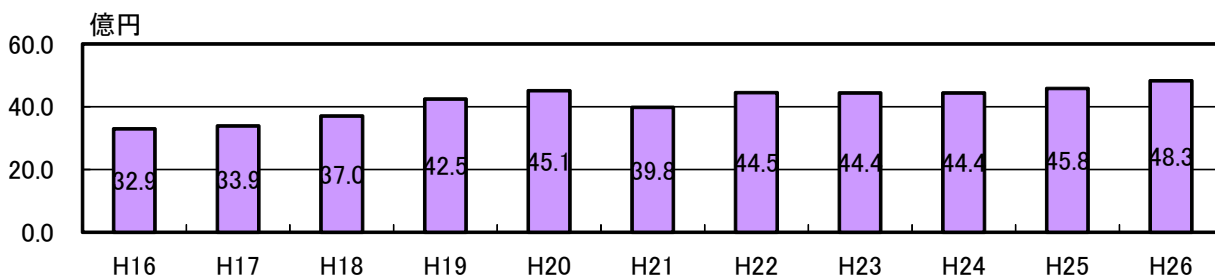


図21 国民健康保険特別会計の科目別予算状況

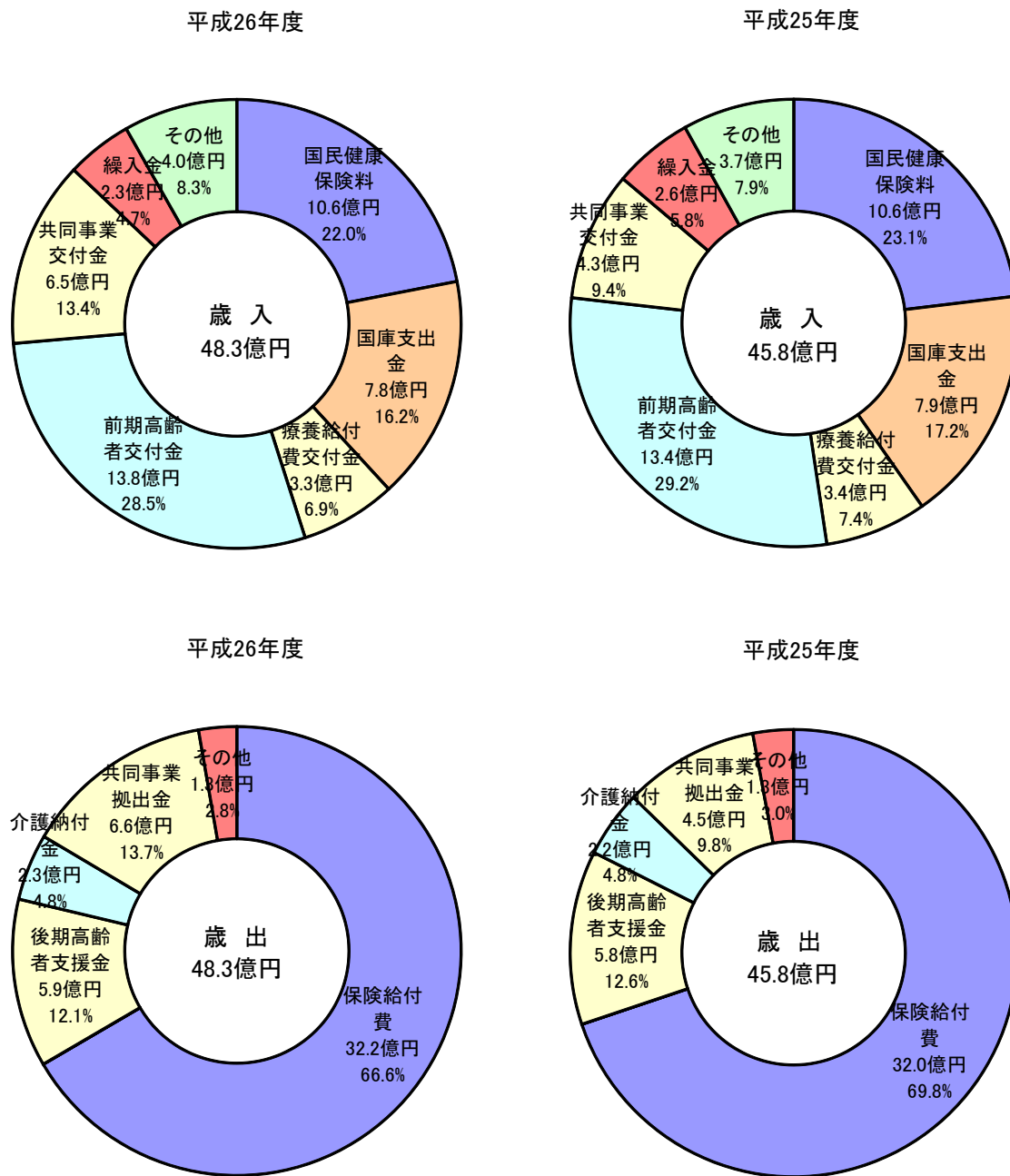
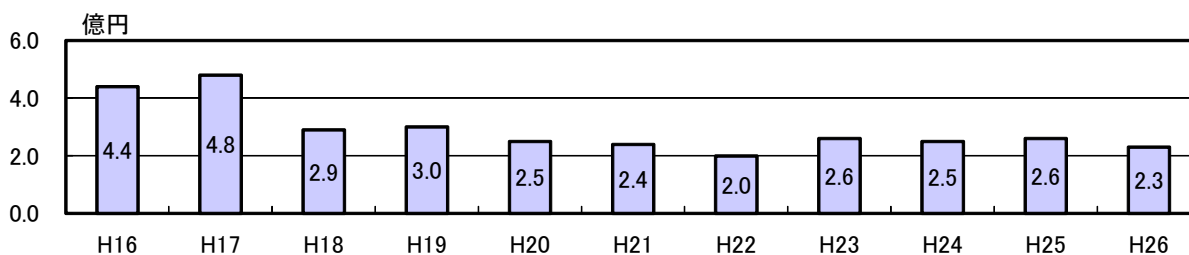


図22 一般会計からの当初予算繰入金の推移



注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

### (3) 後期高齢者医療特別会計当初予算の状況

平成26年度の当初予算は、表18、図24のとおり8億3千万円を計上しました。前年度と比較すると4千万円の増となりました

歳入予算では、後期高齢者医療保険料の特別徴収分、普通徴収分ともに増となり4千万円の増としました。繰入金が入保基盤安定制度負担金や療養給付費負担金の増などにより1千万円の増としました。

歳出予算では、総務費が後期高齢者医療制度委託料の減などにより1千万円の減となりました。事業運営に必要な後期高齢者医療広域連合への納付金が5千万円の増となりました。

なお、予算規模の推移、一般会計からの繰入金の推移は、図23、図25をご覧ください。

表18 後期高齢者医療特別会計の科目別予算状況

歳入予算

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 A - B	伸び率 (A-B)/B
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	322,617	38.7	287,492	36.4	35,125	12.2
使用料及び手数料	61	0.0	61	0.0	0	0.0
繰 入 金	510,698	61.2	501,723	63.5	8,975	1.8
繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
諸 収 入	723	0.1	723	0.1	0	0.0
歳 入 合 計	834,100	100.0	790,000	100.0	44,100	5.6

歳出予算

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 A - B	伸び率 (A-B)/B
総 務 費	16,984	2.0	26,477	3.4	△ 9,493	△ 35.9
後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 納 付 金	814,994	97.7	761,401	96.4	53,593	7.0
諸 支 出 金	722	0.1	722	0.1	0	0.0
予 備 費	1,400	0.2	1,400	0.2	0	0.0
歳 出 合 計	834,100	100.0	790,000	100.0	44,100	5.6

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図23 後期高齢者医療特別会計の予算規模の推移

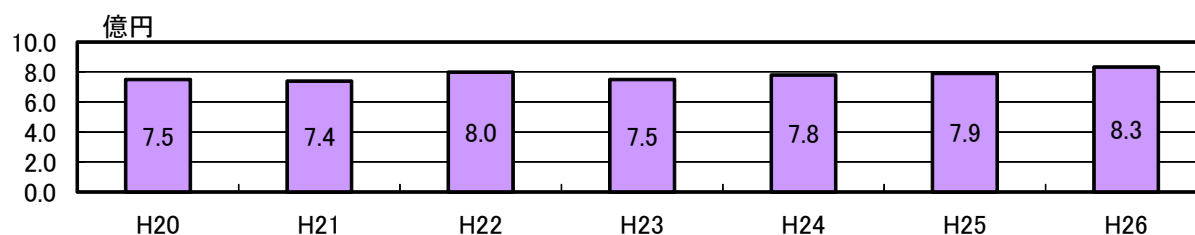


図24 後期高齢者医療特別会計の科目別予算状況

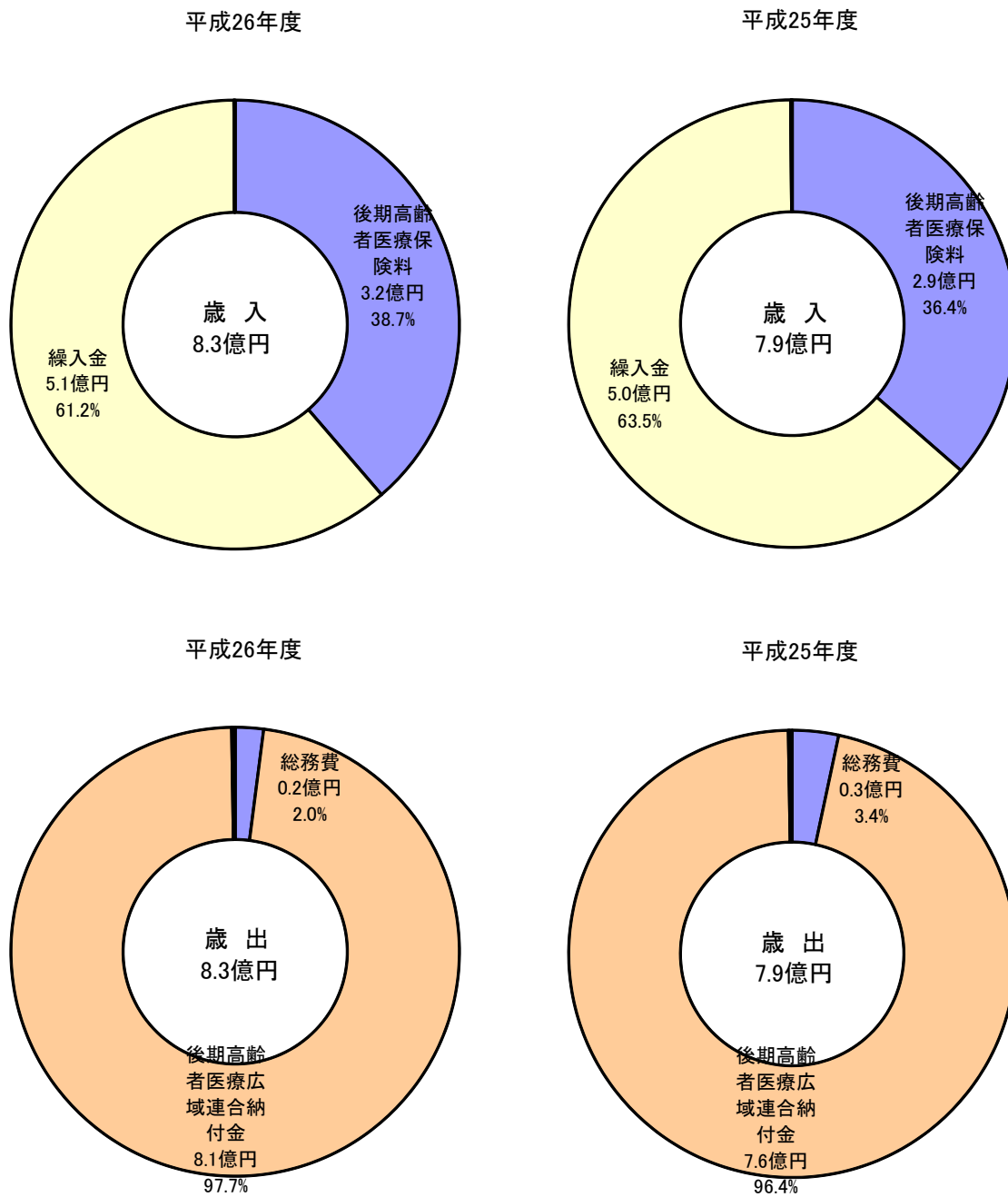
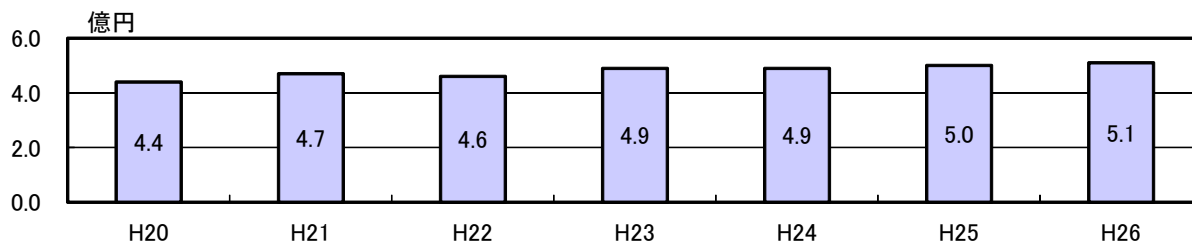


図25 一般会計からの当初予算繰入金の推移



注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。



#### (4) 介護保険特別会計当初予算の状況

平成26年度の当初予算は、表19、図27のとおり31億6千万円を計上しました。前年度と比較すると3億2千万円の増となりました。

歳入予算では、保険給付費の増加に伴い、その財源として保険料が7千万円、国庫支出金が8千万円、支払基金交付金が9千万円、県支出金が4千万円、一般会計からの繰入金で4千万円の増となりました。

歳出予算では、高齢化による要介護者の増加や介護福祉サービスの多様化による増加が見込まれることから、居宅介護サービスや地域密着型介護サービスなどの保険給付費を3億2千万円の増としました。

なお、予算規模の推移、一般会計からの繰入金の推移は、図26、図28をご覧ください。

表19 介護保険特別会計の科目別予算状況

歳入予算

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 A - B	伸び率 (A-B)/B
保 険 料	620,177	19.6	552,552	19.5	67,625	12.2
分担金及び負担金	4,515	0.1	4,664	0.2	△ 149	△ 3.2
使用料及び手数料	1	0.0	1	0.0	0	0.0
国 庫 支 出 金	754,841	23.9	675,417	23.8	79,424	11.8
支 払 基 金 交 付 金	858,531	27.2	763,660	26.9	94,871	12.4
県 支 出 金	377,425	12.0	337,712	11.9	39,713	11.8
財 産 収 入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
繰 入 金	541,304	17.1	503,688	17.7	37,616	7.5
繰 越 金	1,500	0.0	1,500	0.1	0	0.0
諸 収 入	5	0.0	5	0.0	0	0.0
歳 入 合 計	3,158,300	100.0	2,839,200	100.0	319,100	11.2

歳出予算

(単位：千円、%)

区 分	平成 26 年 度		平成 25 年 度		比 較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 A - B	伸び率 (A-B)/B
総 務 費	88,487	2.8	71,000	2.5	17,487	24.6
保 険 給 付 費	2,923,167	92.6	2,602,768	91.7	320,399	12.3
地 域 支 援 事 業 費	134,470	4.3	153,433	5.4	△ 18,963	△ 12.4
基 金 積 立 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
公 債 費	170	0.0	170	0.0	0	0.0
諸 支 出 金	2,005	0.1	1,828	0.1	177	9.7
予 備 費	10,000	0.3	10,000	0.4	0	0.0
歳 出 合 計	3,158,300	100.0	2,839,200	100.0	319,100	11.2

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図26 介護保険特別会計の予算規模の推移

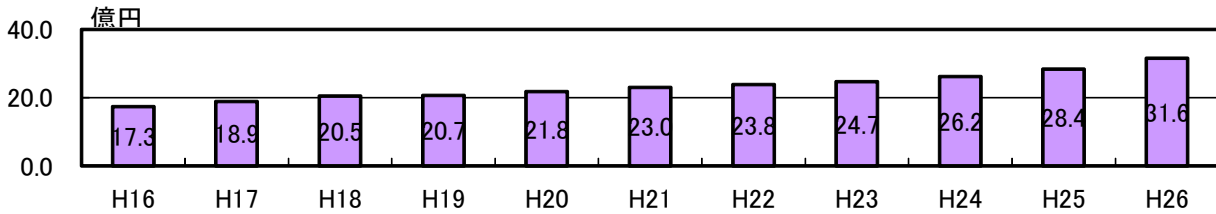


図27 介護保険特別会計の科目別予算状況

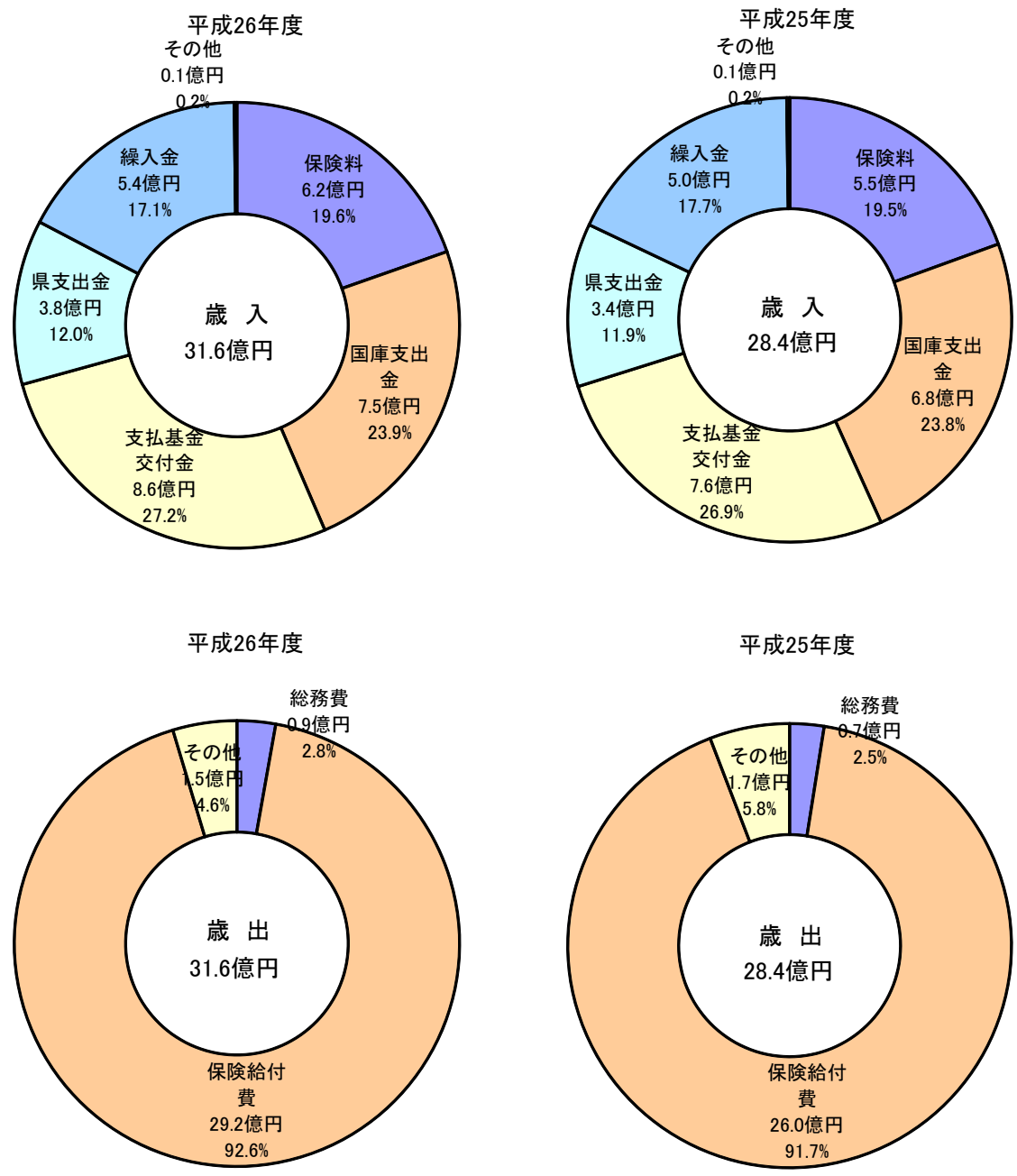
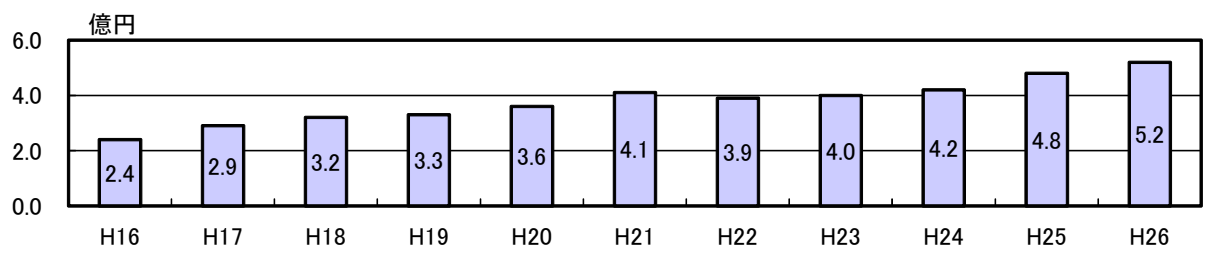


図28 一般会計からの当初予算繰入金の推移



注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

### (5) 農業集落排水事業特別会計当初予算の状況

平成26年度の当初予算は、表20、図30のとおり3億7千万円を計上しました。前年度と比較すると3千万円の増となりました。

歳入予算の県支出金は、機能強化事業への補助金で7百万円の増となりました。一般会計からの繰入金は、2千6百万円の増となりました。市債は、前年度に引き続き県補助金を活用しながら行う機能強化事業に対して借り入れ、前年度比6百万円の減となりました。

歳出予算の施設費は、処理場機器取替工事や中継ポンプ施設工事などの機能強化対策事業や管路施設工事などにより2千7百万円の増としました。

なお、予算規模の推移、一般会計からの繰入金の推移は、図29、図31をご覧ください。

表20 農業集落排水事業特別会計の科目別予算状況

#### 歳入予算

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
分担金及び負担金	900	0.2	900	0.3	0	0.0
使用料及び手数料	54,528	14.8	52,463	15.4	2,065	3.9
県 支 出 金	46,600	12.7	40,000	11.7	6,600	16.5
繰 入 金	231,871	63.0	206,236	60.6	25,635	12.4
繰 越 金	1,000	0.3	1,000	0.3	0	0.0
諸 収 入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
市 債	33,400	9.1	40,000	11.7	△ 6,600	△ 16.5
歳 入 合 計	368,300	100.0	340,600	100.0	27,700	8.1

#### 歳出予算

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
施 設 費	234,418	63.6	207,518	60.9	26,900	13.0
公 債 費	132,882	36.1	132,082	38.8	800	0.6
予 備 費	1,000	0.3	1,000	0.3	0	0.0
歳 出 合 計	368,300	100.0	340,600	100.0	27,700	8.1

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図29 農業集落排水事業特別会計の予算規模の推移

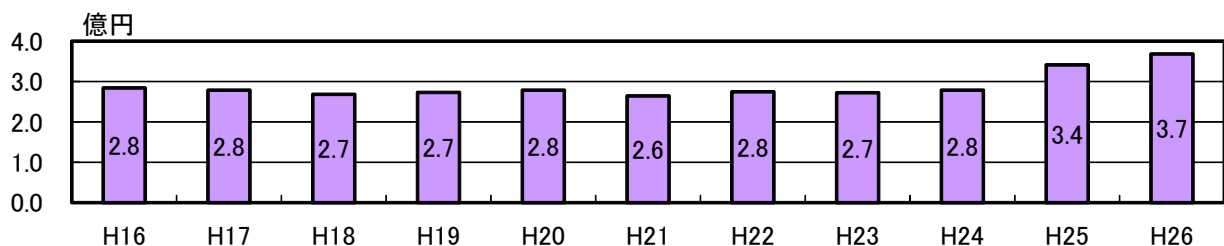


図30 農業集落排水事業特別会計の科目別予算状況

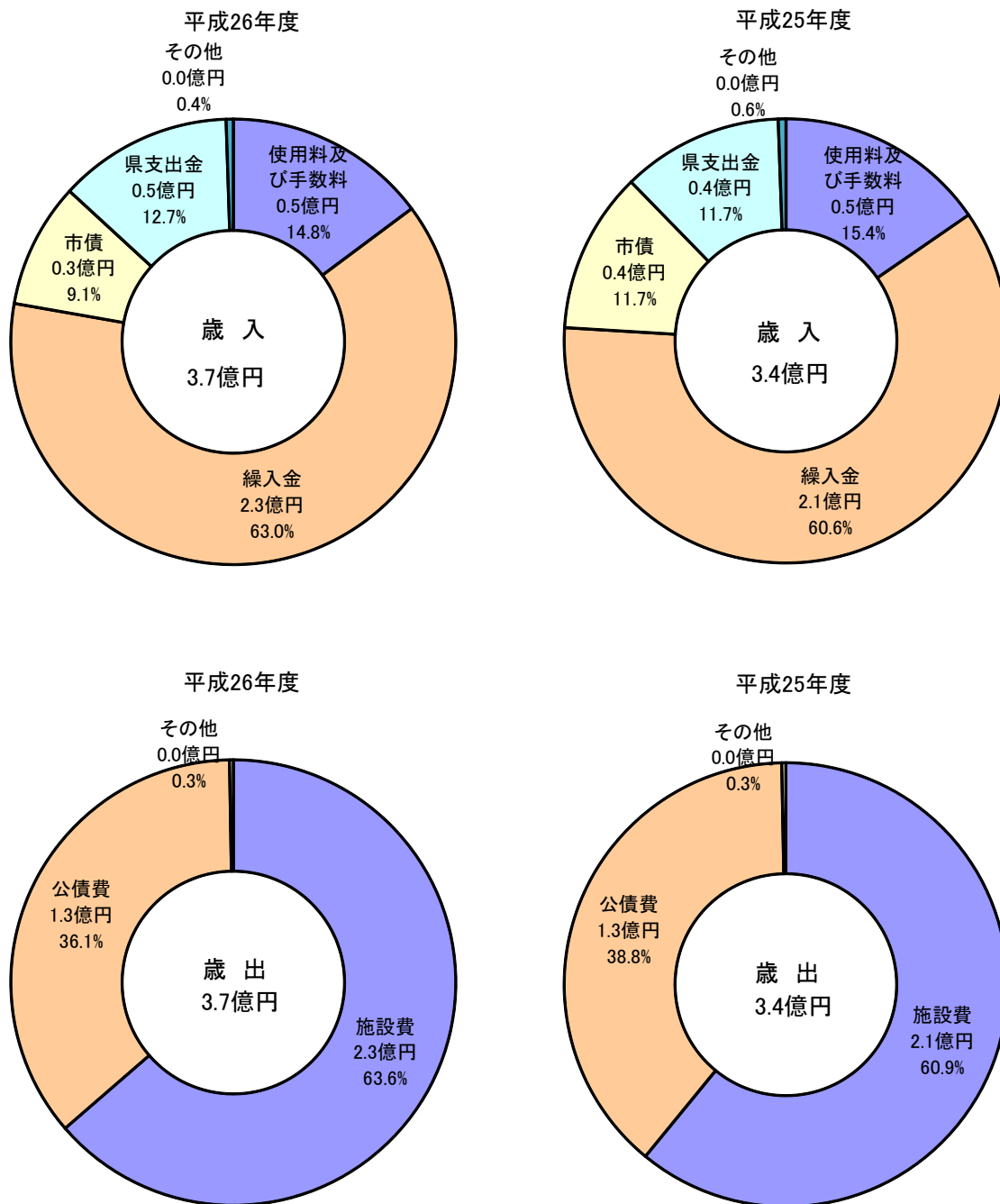
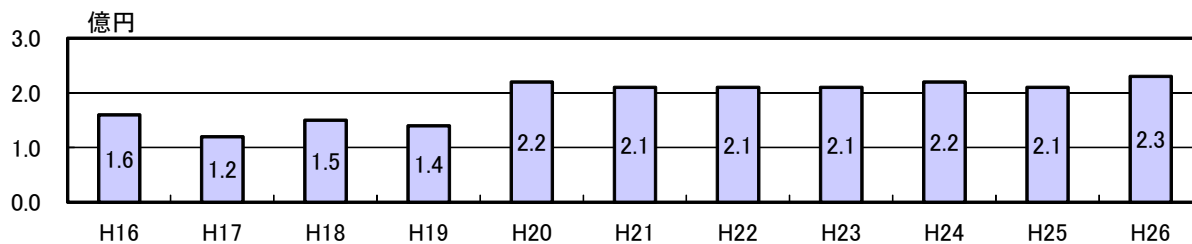


図31 一般会計からの当初予算繰入金の推移



注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

## (6) 下水道事業特別会計当初予算の状況

平成26年度の当初予算は、表21、図33のとおり15億7千万円を計上しました。前年度とほぼ同額となりました。

歳入予算の使用料及び手数料は、下水道料金の改定に伴い2千万円の増となりました。一般会計からの繰入金金は1千万円の減となりました。

歳出予算の事業費は、下水道ビジョン策定業務や中津原地区公共下水道接続事業等で増となりましたが、地震対策緊急整備工事費や流域下水道負担金等の減により6百万円の減となりました。

なお、予算規模の推移、一般会計からの繰入金の推移は、図32、図34をご覧ください。

表21 下水道事業特別会計の科目別予算状況

歳入予算 (単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
分担金及び負担金	15,403	1.0	15,434	1.0	△ 31	△ 0.2
使用料及び手数料	453,626	29.0	429,746	27.4	23,880	5.6
国庫支出金	15,700	1.0	22,000	1.4	△ 6,300	△ 28.6
県支出金	44,327	2.8	51,563	3.3	△ 7,236	△ 14.0
繰入金	996,843	63.7	1,010,556	64.5	△ 13,713	△ 1.4
繰越金	1,000	0.1	1,000	0.1	0	0.0
諸収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
市債	38,900	2.5	36,200	2.3	2,700	7.5
歳入合計	1,565,800	100.0	1,566,500	100.0	△ 700	△ 0.0

歳出予算 (単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		比 較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
事業費	619,167	39.5	624,732	39.9	△ 5,565	△ 0.9
公債費	945,633	60.4	940,768	60.1	4,865	0.5
予備費	1,000	0.1	1,000	0.1	0	0.0
歳出合計	1,565,800	100.0	1,566,500	100.0	△ 700	△ 0.0

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図32 下水道事業特別会計の予算規模の推移

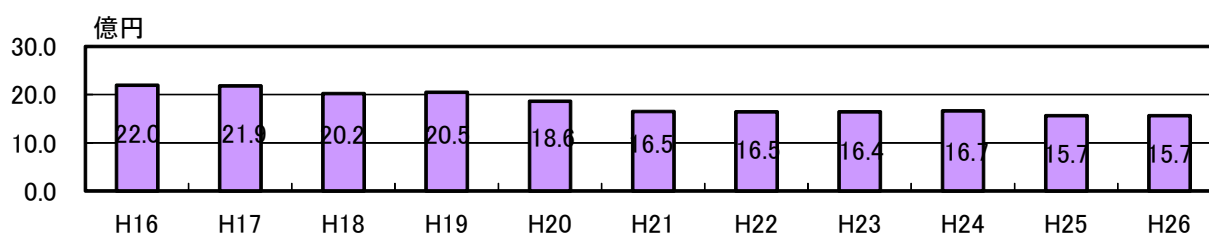


図33 下水道事業特別会計の科目別予算状況

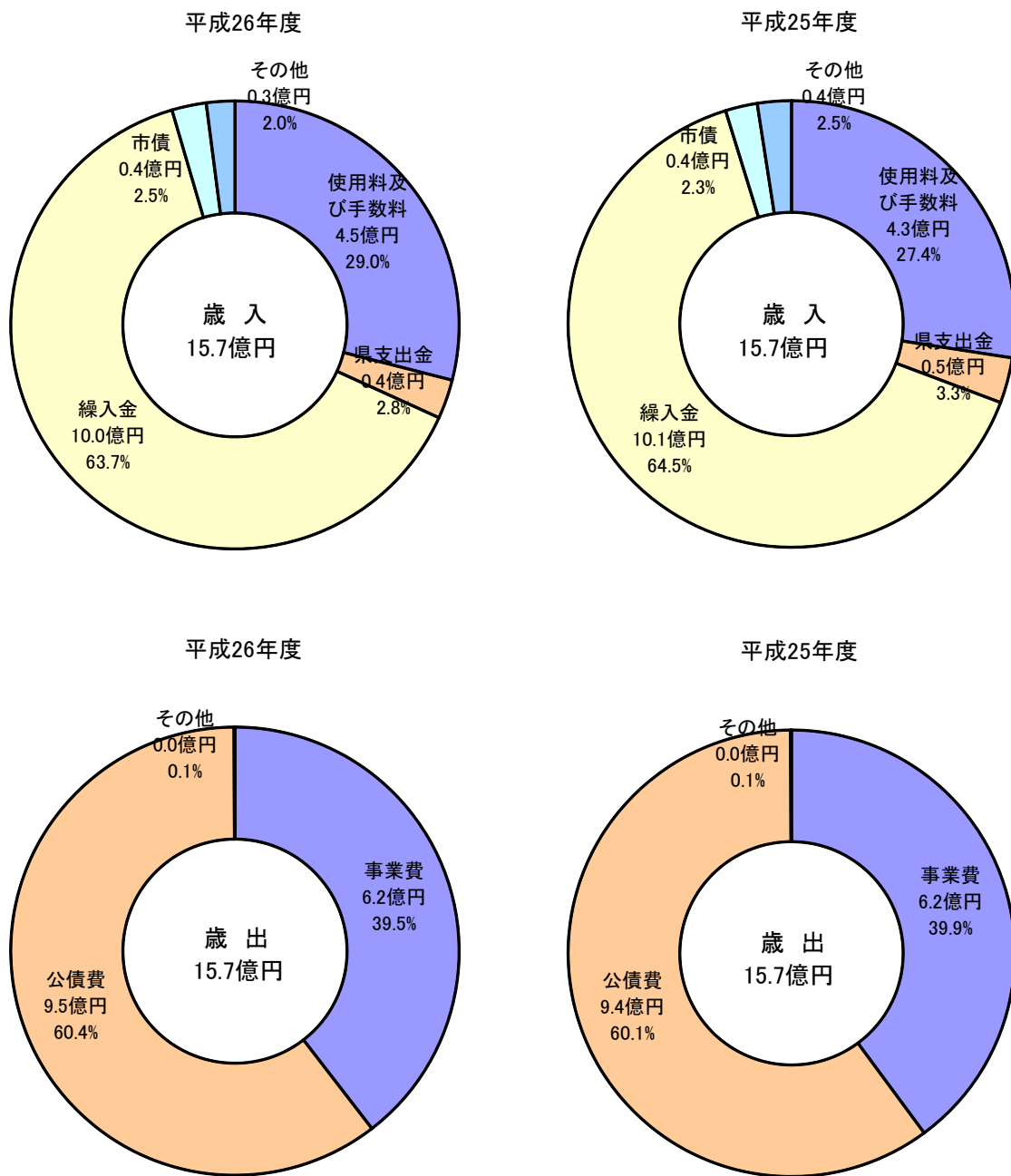
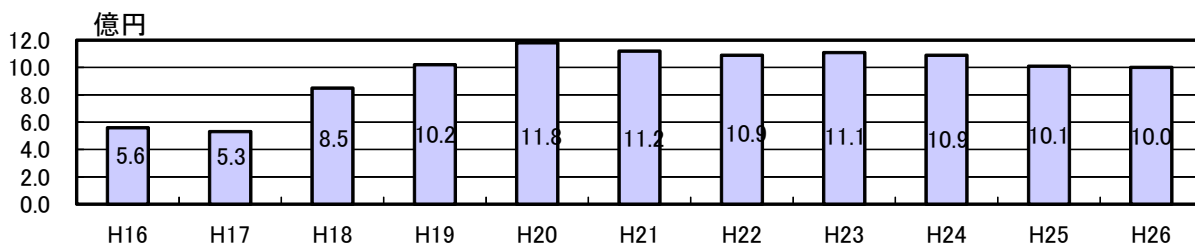


図34 一般会計からの当初予算線入金推移



注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

### (7) 水道事業会計当初予算の状況

平成26年度の当初予算は、表22、表23、図35、図36のとおり収益的支出10億3千万円と資本的支出8億4千万円で18億7千万円を計上しました。前年度と比較すると2億3千万円の増となりました。

収益的収入予算の営業収益は、消費税率の引き上げに伴う水道料金の増収などにより2千万円の増となりました。営業外収益は、みなし償却制度の廃止に伴い、過去に行った施設整備に充当した国庫補助金等に係る有形固定資産の償却分を長期前受金戻入として収益化したことで1億2千万円の増となりました。

収益的支出予算の営業費用は、収益化した長期前受金戻入に対応する有形固定資産減価償却費の増や、消費税率の引き上げによる電気代の増などにより1億3千万円の増となりました。

資本的収入予算の企業債は、簡易水道施設整備事業費の減により2千万円の減となりました。

資本的支出予算の建設改良費は、簡易水道事業統合整備工事や麻生田水源地建設などを行うため9千万円の増となりました。

なお、一般会計からの補助金の推移については、図37をご覧ください。

表22 収益的収入及び支出の科目別予算状況

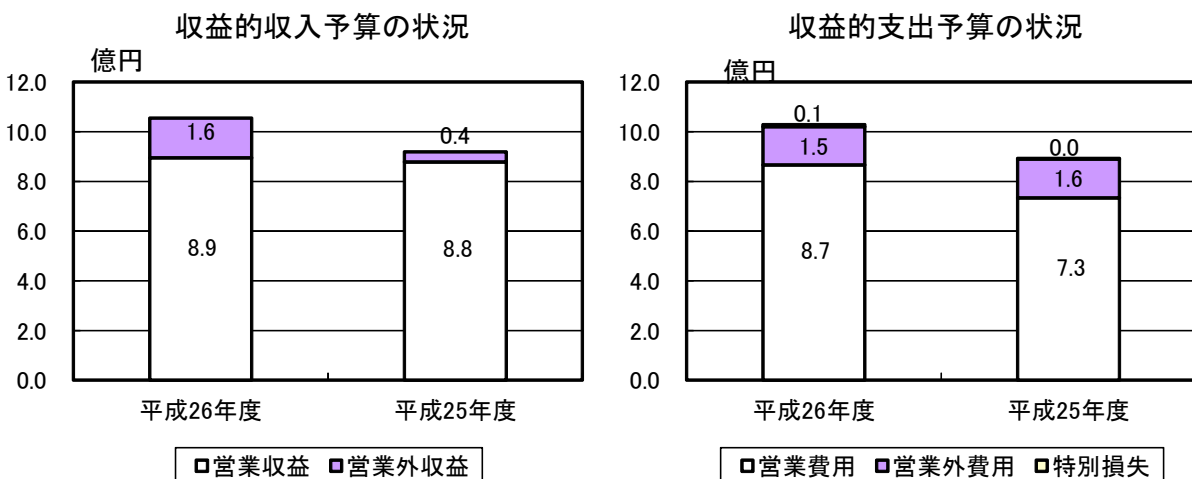
収入 (単位：千円、%)

区 分	平成26年度 予 算 額 A	平成25年度 予 算 額 B	比 較	
			増 減 額 A - B	増 減 率 (A - B) / B
水道事業収益	1,054,666	918,234	136,432	14.9
営業収益	894,780	877,593	17,187	2.0
営業外収益	159,886	40,641	119,245	293.4

支出 (単位：千円、%)

区 分	平成26年度 予 算 額 A	平成25年度 予 算 額 B	比 較	
			増 減 額 A - B	増 減 率 (A - B) / B
水道事業費用	1,028,352	892,772	135,580	15.2
営業費用	866,486	733,707	132,779	18.1
営業外費用	153,179	156,565	△ 3,386	△ 2.2
特別損失	8,687	2,500	6,187	247.5

図35 収益的収入及び支出の予算状況



注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。



表23 資本的収入及び支出の科目別予算状況

収入

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度 予 算 額 A	平成25年度 予 算 額 B	比 較	
			増 減 額 A - B	増 減 率 (A - B) / B
資 本 的 収 入	298,496	313,723	△ 15,227	△ 4.9
企 業 債	120,000	135,000	△ 15,000	△ 11.1
出 資 金	71,416	69,358	2,058	3.0
負 担 金	52,500	52,500	0	0.0
加 入 金	14,580	11,865	2,715	22.9
補 助 金	40,000	45,000	△ 5,000	△ 11.1

支出

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度 予 算 額 A	平成25年度 予 算 額 B	比 較	
			増 減 額 A - B	増 減 率 (A - B) / B
資 本 的 支 出	837,382	740,797	96,585	13.0
建 設 改 良 費	556,801	467,679	89,122	19.1
企 業 債 償 還 金	280,581	273,118	7,463	2.7

図36 資本的収入及び支出の予算状況

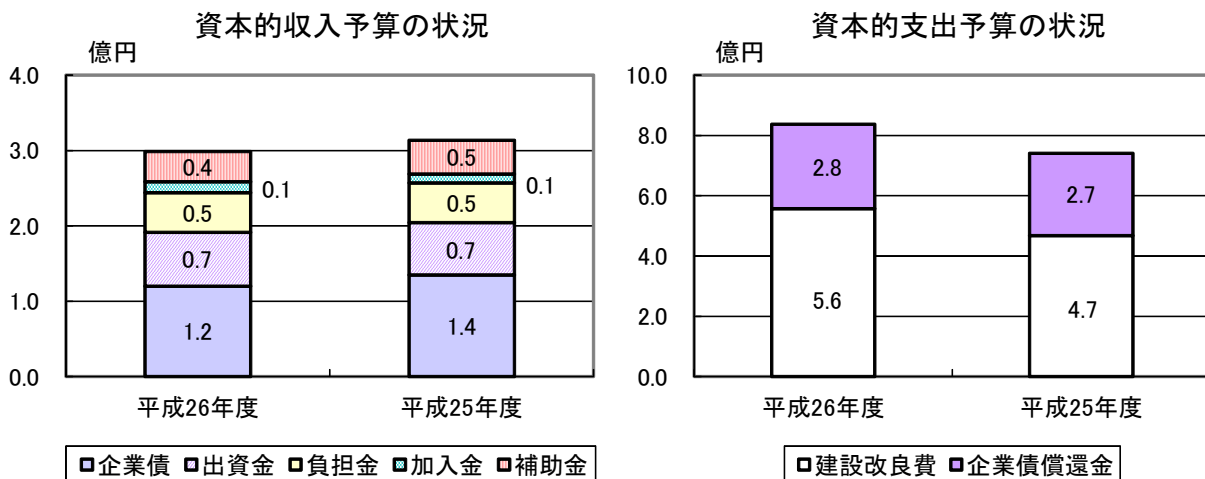
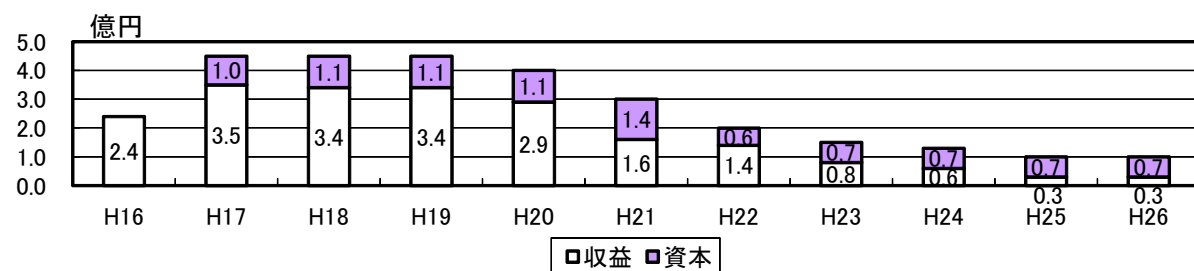


図37 一般会計からの当初予算補助金の推移



注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。